

1 子ども条例に基づく施策の実施状況

条例は前文で、「子どもは自分が受け止められ、認められていると実感することで自己肯定感を高めることができる。また、子どもは、家庭や学校を始めとする地域社会での経験を通して、人とのさまざまな関わりや多様な価値観に触れることで、人を思いやる心や自らの課題を乗り越える力を身に付けることができる」とうたっています。

このような子どもの力を育んでいくため、子どもの「思いや意見が尊重される」取組を進めていくことが大切です。

条例では第3条第1号で「子どもを権利の主体として尊重する」「子どもの最善の利益を尊重する」「子どもの力を信頼する」を基本理念として定めています。

この基本理念を実現するために、条例第11条において、子どもの権利について学ぶ機会の確保や子どもの施策に関しての意見表明と主体的活動の支援等について定めています。

【条例第11条】（施策の基本となる事項）

県は、子どもが豊かに育つことができる地域社会づくりに関する施策の策定及び実施に当たっては、次に掲げる事項の確保を旨とするものとする。

- 一 子ども権利について、子ども自身が知り、及び学ぶ機会並びに県民が学ぶ機会を提供すること。
- 二 子どもに係る施策に関して、子どもが意見を表明する機会を設け、参加を促すとともに、子どもの意見を尊重すること。
- 三 子どもが、自らの力を発揮して育つことができるよう、主体的に取り組む様々な活動を支援すること。
- 四 子どもの育ちを見守り、及び支えるための人材の育成を行うとともに、保護者、学校関係者等、事業者、県民及び子どもに関わる団体並びに市町が行う活動の促進が図られるよう、環境の整備を行うこと。

子どもが豊かに育つことができる地域社会づくりに関する県の主な取組の実施状況について、以下及び別表のとおり、条例第11条で定める基本となる事項別に整理しました。

(1) 子どもの権利について学ぶ機会の提供等

子どもが自分の権利について知り、自分が大切な存在であると認識すると、他人の権利を尊重することや、社会のルールや約束事を守ることの大切さについての理解が深まります。また、大人は、子どもの権利について学ぶことで、子どもが基本的人権を有する一人の人格であることを理解することができます。その中で子どもと大人に信頼関係が生まれ、子どもが安心して豊かに育つことができるようになります。

○「三重県子ども条例」推進・啓発等の実施（健康福祉部子ども・家庭局）

「三重県子ども条例」に基づく取組に、県民の方がより一層理解を深め、子どもの育ちへの支援を学んでいただけるようにチラシを作成し直しました。

また、「子育て応援！わくわくフェスタ」などの子どもの育ちや子育て家庭を応援するイベントや小学生の県庁見学などでのチラシ配布と説明、及び県立図書館でのブース設置（平成28年12月～平成29年1月）など様々な機会を捉えて啓発活動を行いました。

第11回子育て応援！わくわくフェスタ

○キャッチフレーズ：モ〜っと、モ〜っと、家族であそぼう！ふれあおう！！

○日時：平成28年11月19日（土）、20日（日）10時～16時

○会場：三重県立みえこどもの城（松阪市）

○来場者：約8,500人（1日目約3,500人、2日目約5,000人）

○出展：51ブース（遊び・体験・展示部門：46ブース、飲食部門：5ブース）

○出演：10団体

○主催：三重県、みえ次世代育成応援ネットワーク

○共催：松阪市、多気町、明和町、大台町



○「命の大切さを学ぶ教室」の開催（警察本部）

次代を担う中学生、高校生及び大学生に対し、犯罪被害者等の講師が、犯罪被害者等が受けた様々な痛み、家族の絆、命の大切さ、被害者も加害者も出さない社会を希求する思い等について語りかけ、受講した生徒が犯罪被害者等の悲痛な思いや置かれている現状に対する理解を深め、社会全体で犯罪被害者等を支える機運の醸成を図るとともに、自分や他人の命を大切にす意識、犯罪を犯してはならないという規範意識の向上を図ることを目的として開催しました。（開催回数：10回、受講者数：約3,200人、うち中高校生：約3,040人）

(2) 子どもが意見表明する機会の設定等

子どもが地域の中で生活する一員として、よりよい地域社会づくりに向けて意見を表明する機会があることは大切です。そのような機会を積極的に設けることで、子どもの社会参加の促進や地域への愛着形成にもつながります。

○「キッズ・モニター」アンケートの実施（健康福祉部子ども・家庭局他）

県の施策に子どもの意見や状況を反映させるため、子どもを対象にインターネットを用いた電子アンケートに回答していただく「キッズ・モニター」を実施しました。（実施回数：7回）

○家族の絆 一行詩コンクールの実施（健康福祉部子ども・家庭局）

温かい気持ちのやりとりのなかで、子どもが安心して自分らしく育つことを期待して、「ありがとう」をテーマにした一行詩を募集し（応募作品数：12,262作品）87作品が受賞しました。このうち、最優秀賞・優秀賞・家族の絆賞・地域ふれあい賞については、1月29日に三重県立こどもの城で表彰式を行いました。

家族の絆一行詩コンクール表彰式

- ・日時 平成29年1月29日（日）
- ・場所 県立みえこどもの城 ドームシアター
- ・概要 家族の絆一行詩コンクール表彰式
「家庭の日」絵画ポスター展 表彰式
家族のふれあいコンサート
(皇學館大学アンサンブル部)



【平成28年度 家族の絆・個人部門 最優秀賞】

お兄ちゃんへ

何でもできるお兄ちゃんが大好き。

でもお兄ちゃんがいるから私は迷わず頑張れる、

ありがとう いつかお兄ちゃんを超えてみせるよ

(3) 子どもが主体的に取り組む様々な活動の支援

子どもにとって、地域社会のなかでのさまざまな体験や人とのふれあいは、すべて学びにつながり、自信や信頼を深める大切な機会でもあります。子どもが自分で考える力と、思いや願いを実現する力を発揮して自分らしく育っていけるよう、より多くの機会や情報の提供などの支援が求められています。

○高校生フェスティバル（教育委員会事務局）

「三重県立高等学校産業教育フェア」「みえ高文祭」「三重県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会および三重県高等学校定時制通信制生徒文化作品展」「人権まなびの発表会」「高校紹介ひろば」「高校生フォーラム」を実施し、高校生が日頃の学習や文化活動等の成果を情報発信しました。

- ・実施日：平成 28 年 10 月 21～23 日
- ・開催場所：三重県総合文化センター
- ・参加生徒延べ約 3,423 人、一般来場者延べ約 4,693 人

○キッズ I S O 14000 プログラム（環境生活部）

小学校、企業、行政が連携してキッズ I S O 14000 プログラムに取り組むことにより、子どもがリーダーとなって、保護者に趣旨を理解してもらい協力いただくことで、家庭での節電等の取組を推進しました。（参加児童数：小学校 19 校、707 人）

(4) 子どもの育ちを支える人材育成、環境整備

子どもが豊かに育っていくためには、たくさんの大人が多様な価値観を持って子どもとふれあい、子どもを支えていくことが大切です。地域の中で子どもの育ちを支えることのできる人材を育成するとともに、そうした人材を含め地域の多様な主体が行う活動が促進されるような環境整備が求められています。

○みえ次世代育成応援ネットワークの活動促進（健康福祉部子ども・家庭局）

社会全体で子どもや子育て家庭を支える地域を実現するために、地域の担い手である企業や子育て支援団体等が参画し活動している「みえ次世代育成応援ネットワーク」の会員拡大及び活動促進を図りました。（平成 29 年 3 月 31 日現在の会員数：1,500 会員）

○子ども専用電話相談の運営（健康福祉部子ども・家庭局）

子どもからの相談に対応する窓口として、子ども専用電話相談「こどもほっとダイヤル」を運営し、悩みを抱えた子どもの声を受け止め、子どもとともに状況や気持ちを整理しながら継続して相談を受け、子どもが自らの力を回復して解決していくことができるよう手助けしています。虐待やいじめなど子ども自身の力だけでは解決できないような場合には、児童相談所や教育委員会等関係機関と連携して対応しました。（平成 28 年度の相談件数：875 件）

○子育て・子育てマイスター養成講座や孫育て講座の実施（健康福祉部子ども・家庭局）

地域において多くの子育て支援の場や子育て家庭を支えることができる人材の養成を図るため、市町のニーズに応じて、必要とされる一定の知識や専門的なスキルを身に付ける子育て・子育てマイスター養成講座や子育て期を終えた世代を対象とした孫育て講座を市町と連携して実施しています。受講者は、中学生あかちゃんふれあい体験のサポートや託児支援などに関わり、各地域で活躍していただいています。（平成 28 年度の講座実施市町数：のべ 10 市町、養成者数：のべ 171 人）

【参考】みえの子ども応援スマイル補助金を活用した事業の取組状況

「みえの子ども応援プロジェクト」に賛同いただいた皆様からの協賛金を原資に、子育て・子育て家庭支援など「子どもの笑顔と子育ての喜びがあふれる地域社会づくり」を進めるための取組に対して補助金を交付する「みえの子ども応援スマイル補助金」を活用した事業については、下記のとおり、各団体において、取組を実施しました。

①みんなの居場所「こどもの隣」プロジェクト

【実施団体名】みんなの居場所「こどもの隣」プロジェクト（名張市）

【補助額】236,000円

【事業概要】絵本の読み聞かせや学習支援などを行いながら、地場産野菜を使用した食事の提供を行う「こども食堂」を開設します。また、参加親子と、高齢者や地域生産者さんとの交流を図り、生産体験なども行います。

【実施状況】市内の農家や企業などの協力を得ながら、平成28年11月から平成29年2月までの間に6回開催し、延べ300人を超える親子に参加していただきました。参加者からは「夜勤明けだと食事の準備が大変なので、子ども食堂があって助かった」、「(子どもが)野菜をおいしく食べていた」などの意見が寄せられました。

②子育てママのための再スタートセミナー開催

【実施団体名】特定非営利活動法人 ワークスタイル・デザイン（四日市市）

【補助額】89,000円

【事業概要】起業に関心をもつ子育て中の女性を対象に、女性経営者による企業体験談の紹介や専門家による成功のポイントの解説を行うセミナーを開催します。

【実施状況】キャリアコンサルタント、公認会計士によるキャリア形成や起業の準備などについて講演や、子育てと仕事を両立させたカフェ、ベーカリー等の経営者による企業体験談を紹介するセミナーを平成29年2月22日（水）、25日（土）の2回開催し、計11人に参加いただきました。参加者からは、「育児中の主婦の方が起業した内容でしたので、重なる部分が多く、とても参考になった」などの意見が寄せられました。

③「鬼活」スポーツ鬼ごっこで地域交流活動

【実施団体名】日永地区社会福祉協議会 文化教養・青少年部（四日市市）

【補助額】70,000円

【事業概要】子どもだけでなく、地域住民も参加でき、参加者同士の交流を図る場づくりとして、スポーツ鬼ごっこに取り組むイベントを開催します。

【実施状況】毎月第3土曜日に、地域の小学校などを活用して、スポーツ鬼ごっこを取り入れた交流会を開催しました。活動を通じて、親子や子ども同士など参加者間のコミュニケーションが図られたほか、地域の方に声かけを行い、観戦してもらい地域との交流の促進を図りました。